

第3回合志市自治基本条例推進委員会

平成31年3月14日(木) 午後7時～8時30分(防災センター棟避難所②)

[出席委員] 松永和典 武部由紀子 松坂成子 永島賢治 吉村明子 村山善邦 木村芳聰
上野和夫 東隆幸 岩元克雄 柏尾智之 松井美津子 後藤修一 西畠隆博
渡邊和代 松田勝 水上明子 (敬称略) (17名)

[欠席委員] 木村美穂 中島眞由美 (2名)

[事務局] 高野和子主幹《進行》

[議題] (1) 女性班・シニア男性班・現役世代男性班の3班に分かれての討議
① 今までの合志市自治基本条例推進委員会を振り返って
② 来年度の合志市自治基本条例推進委員会のあり方について
(目標や活動計画等)
③ その他、合志市自治基本条例に関することについて

[会議の公開・非公開の別] 公開

[傍聴者] 0名

1【開会】

(高野主幹)

定刻になりましたので自治基本条例推進委員会を始めます。

本日は木村美穂委員と中島眞由美委員のお二人より欠席の連絡があっております。

自治基本条例推進委員会条例第7条第1項により、会議は委員長が議長となることとなっておりますので、以下は委員長に進行をお任せいたします。どうぞよろしくお願い申し上げます。

2【委員長あいさつ】

(岩元克雄委員長)

皆様、こんばんは。この手元にありますファイルは、今期委員会の最初から今日までの、市役所からいただいた資料の全てでございます。こんな厚さになりました。第一ページ目には何があるか。「委嘱状」というのがあるんですね。「平成29年6月1日付けから平成31年5月31日まで、合志市自治基本条例推進委員会委員を委嘱します」というのを荒木市長から平成29年6月1日付けでいただいています。その前に私は平成29年5月27日付けで「委員の承諾書」というのを書いておまして、それに基づいて委嘱状をいただいて、今日を迎えています。会議録も合わせますと、こんな膨大な資料になります。

この委員会は任期が2年、そして1年間にだいたい2回の会合を従来から持っておりました。今年度だけが会議が1回多く、異例の3回になっております。今日の会議は、前回の会議で「どうすれば委員会がもっとスムーズにいくかなど、十分な検討が必要ではないか。根本的なことを話し合うことが必要ではないか」という結論が出たことから開かれるものであります。事実上、今期の我々の委員会は、今日が最後でございます。

お手元にお配りしてある会議次第に基づき進めます。まずは、「今までの合志市自治基本条例推進委員会を振り返って」。2年間を振り返っての感想を述べていただきたいと思います。そして「来年度からの次期自治基本条例推進委員会のあり方について」。どういうふうにすればもっと効果的な委員会になるのか、あるいはどこまでこの委員会を存続させる必要があるのか。そのあたりを含めて、今日は3グループに分けて話し合い、後で代表の方にそれぞれ報告していただきます。その後に総括を話し合います。午後8時半が目途になります。最後の委員会、最後、最後と強調しておりますが、どうぞよろしく願いいたします。

(上野和夫委員) 始める前に、事務局に質問です。率直に伺いたいのですが、この委員会は、来年度も継続するのでしょうか。

(高野主幹) もちろん継続でございます。来年度も会議を3回開催できるよう、平成31年度予算案を市議会に上げております。

(上野委員) 分かりました。

3【議題】

3班に分かれての討議。

(岩元委員長) それでは、各班でまとめたご意見の紹介をお願いします。まずはレディーファーストで、女性班からどうぞ。

(水上明子委員) たぶんどの委員さんも同じだと思うんですけど、初めは自治基本条例とは一体何のことか分からない、知らない。だんだん分かってきて、分かるようになったら終わりなんです。ここからどうするのかが分からない。そして自治基本条例を、若い人もお年を召した方もほとんど知らない。それでも私達がやってきたのは何かというと、市民がより良い暮らしをするために、自分達力で自分達の地域を良くしていくために組織立てて頑張っていくために条例があるし、それを浸透させていくこと。これが私達自治基本条例推進委員の役目であったのです。ここまでが反省ですね。でも具体的には進まない。そこで、贈る言葉として何を残していくかとい

うと、自治基本条例推進のために自ら活動できる市民を育成していくためには、やはり指導者が必要であり、ここで話したことを伝えていく人をつくらなければいけないのではないかということです。それぞれの自治会に出掛けて行って話をするとか、ガイドブックについて説明をするとか、啓発者が必要だということです。

それから、それぞれの取り組みや具体的事例を紹介していくことが大事ではないかということです。地域によっては、子どもが多い所もあれば、私の地域のようにほとんどシニア世代で、子ども達は数えるほどしかない所もあります。その中で、子どもがいても子ども会に入らない家庭や、自治会にも入らない世帯がある。今、私の区では「防災マップ」を作ろうとしています。団地で道路は碁盤の目なので、見た目は分かりやすいのですが、世帯の内部については向こう3軒両隣、どなたが暮らしているのかをお互いに知らない。そこで、「自分達が誰を助けるのか」をはっきりさせるために、「お隣の〇〇さんを助ける」等と書いたものを各家庭に配置するべく、マップを作成中です。併せて、子ども会に入っていない家庭への働き掛けもしています。夫が区長をしているのですが、新しくできた道路にはまだ信号がついていないので、中学生が登校を始める朝7時ぐらいから8時半ぐらいまで毎朝、夫が道を渡しています。私はバス通学の小学生をバスに乗せる見守りをしていますが、「おはよう～」と声を掛けるついでに「子ども会に入らんね～」と呼び掛けています。自分達の自治の力、自助の力で少～しずつ動いています。そういう事例を挙げていくことが大事だという話をしました。

では、防災マップなどの事例を通して、どなたを指導者へ育成していくか。若い人が少ない地区はどうするか。うちの地区は、消防団組織もありません。よその地区では何かあると消防団がパッと動いてくれますけど、うちにはありません。区の防災設備もこの前点検しましたがけれども、永く使われていなくて危ない状況でした。その中でやはり頑張れるのは、70歳代の皆さんです。シニア世代にもっと皆を引っ張っていただくよう人材活用を図り、自治の力を皆でつけていこうというのがこれからの課題です。「若い者には負けんぞ」と思ってもらおう。要は、話をしてもどうにもならない時はまず活動しよう、そのためには啓発者をつくろう、高齢者も頑張ろう、ということです。以上です。

(岩元委員長) ありがとうございます。それでは、現役世代男性班をお願いします。

(柏尾智之委員) 今の意見と重なる所もありますので、重複するものは省きます。まず、振り返りとしましては、事務局の努力や工夫でディスカッション形式になり、意見が出やすくなったということが挙げられます。しかし、達成感

が乏しいという感じで終わったという意見もありました。もう少し目的や役割を明確にして、テーマを決めてやったほうがいいんじゃないかということで、例えば、この推進委員会を続けるのであれば、自治基本条例ガイドブックをより良いものに更新していくための話し合いとか、具体的なテーマや目標を持ってやっていってはどうかというものです。今の自治基本条例ガイドブックは平成 29 年 6 月発行でまだ新しいのですが、話し合っているうちに結局 3 年後、5 年後になってしまいます。日々話し合うなど、明確な目標を持つとよいのではという意見でした。また、次の委員さん達に贈る言葉としては、「この推進委員会は役割を終えたんじゃないか」という意見もあり、次のステップ、次のステージにモデルチェンジ、衣替えをして、名前から何から変えてはどうかという話が出ました。さらに、自治基本条例の条文見直しというのも委員の活動の一つですが、そこまでは至っておりません。今後は、条例中に自治会加入などへの強制力を持たせるとか、現行では「市民」の定義が非常に広いことから見直しを検討してもよいのではという意見がありました。以上です。

(岩元委員長) ありがとうございます。それでは、シニア世代男性班をお願いします。

(木村芳聰委員) シニア世代班ということで、どちらかというと高齢者なのですが、今それぞれ女性班や現役世代班から出た意見とダブっていることが多く、改めてそれが課題なのだと思います。

反省と今後のあり方を一緒にして申し上げます。時間が足りなくて十分に話が出来なかった、条文が難しくて分かりにくい面もあった、テーマを決めてどうすれば実現するかという論議をすればよかったのではないかという意見が出ました。

テーマを決めての論議については、例えば、旧合志町と旧西合志町ではいろんな点でやり方が違う面があることから、一本化に向けて、行政と連携しながら話し合いを進めてはということが挙げられます。また、自治基本条例ガイドブックは各家庭で十分に活用されていません。例えば、「みんなですすめるまちづくり」と小さくあって合志市自治基本条例と大きく書かれていますが、「みんなですすめるまちづくり」をもっと大きくした方が分かりやすいのではないかという意見がありました。

やれることは今までやってきたつもりですが、それでも委員の役割や仕事というのは、分かっているようではなかなか分かっていない面もある。今後はもう少し明確にしてはという意見でした。そして、市民・議会・市役所の三者が一体となった地域づくりの具体的事例について、「どこで何があっているか」は事務局が大体分かっているかと思いますので、委員会の啓発と実行力を高めるために行動をしていってはという意見が出ました。

来年度は何かやはり、今と違った発展が必要ではないかと思っております。簡単ですけど以上です。

(岩元委員長) ありがとうございます。この2年間の今の反省を踏まえて、次の委員会の皆さんに向けて、どういうことを提案として伝えていくかというのを報告していただきました。

私はずっと委員をやってきました、1期2年で今は4期目です。毎回会議の場におりましたが、たいていの方は2年で代わられますので、結局「初めからやり直し」になるんです。次の方も2年でまたやり直しで、この繰り返しでした。もちろんその中には、検討や提案が実行され、実現した実績もあるのですが、それでも2年間という限度で、どこまで具体的な推進委員会の実績・実行があったかという、う〜んと考えてしまうところもあります。

さっき事務局より「来期もある」という話がありましたが、「市当局はこの推進委員会に、最終的に何を求めているのか」ということを、いつも感じておりました。本委員会としては、市民に自治基本条例の本質を体得してもらって、市民と議会と市役所が一体となって住みよいまちづくりを進める。これは分かるわけですが、実際に地域リーダーが表に出ていって動く場合、市当局はどこまで我々の活動を許容範囲としているのかが分かれば、もっとやりやすい。各地区との様々な連絡・調整等も必要になってくるかと思えます。女性班から今までになかった素晴らしい意見が出ましたけれども、我々委員が目的を成就させるために実際に行動するということは、市当局が委員会に対して期待するものや、活動の許容範囲をはっきり示してもらった上で、委員が地域リーダーとして表に出て行って子ども会への勧誘や自治会加入による全員参加の働き掛け等の活動を行うことができればと思います。

名称の問題も男性班から出ました。「合志市自治基本条例」の認知度については毎年、市がアンケート調査をしていますが、大体同じような認知度です。これだけ一生懸命にやっているのに、認知度はほとんど変わらない。ではどうすれば良いか・・・と毎回同じ所から入って話し合っていました。しかし今回、現役世代男性班から「第2ステージ」という話が出まして、大変良い意見であると思えます。今まで推進委員会をやってきていて、ここまで突っ込んだ話は出ませんでした。

今まで出ることのなかった、この度の現役男性班からの「次へのステップ」、そして女性班からの「地域へ出ていく」という有意義なご提案を踏まえて、ご意見がありましたらおっしゃってください。

(吉村明子委員) どちらかと言えば、皆さん日頃から色々やっつけていらっしゃるんです。

多くの人に「こういうことを頑張ってやっているんだよ」ということを広く知らせ、アピールをする「自治基本条例まつり」をやって、「こんなこともあんなこともそんなことも、私達の暮らしているこの市を良くするために取り組まれているのだ」と具体的な事例を表に出すということが続けていけば、少しずつ市民に広まっていくのではと思います。

(岩元委員長) 素晴らしいですね。具体的な事例をどんどん紹介していく段階に入っているということだと思います。男性の班からありました「次のステージ」について、具体的に何かご意見はございますか。

(上野委員) 私は、今の委員会の形態を根っこから変えてほしいと思います。一つの提案として、自治会にシフトしたらどうかなと思います。各自治会の中で推進委員という役を誰かになっていただき、より深く研究して各地区に持ち帰り、自治会で十分に啓発やPRをしていただくというシステム変更をしてはどうでしょうか。

(木村委員) 今でも、区長会では話が出るのではないのでしょうか。

(東隆幸委員) 自治会がそれなりにやっている所はいいんですよね。

(岩元委員長) 区長会の場でも、自治会加入率などの話は出るのでしょうか。

(上野委員) 区長会よりも自治会のほうが分かりやすいと思いました。年2回の会合では、住民との折衝はないんですよね。

(岩元委員長) 区長会から、ご意見をどうぞ。

(松永和典委員) 耳が痛い所はあるんですよね。各自治会で努力はしているんですよ。自治会加入については区長自身も説得をしていますし、区長会で出た議題は自治会へ持ち帰り、住民に周知しています。なかなか表には出ていないかもしれませんが、それぞれ区長さん方は努力されています。

(上野委員) 悩んでいらっしゃるんですね。

(岩元委員長) その他何か、どうしても今期の最後に言いたいことがある方、どうぞ。

(意見なし)

今期の自治基本条例推進委員会は、今回が最終回です。最後にご挨拶を申し上げます。2年間ありがとうございました。お蔭様で任期を全うすることができました。委員さんは半分ぐらい残られると思いますので、次の方々に話をつないでいただき、最初から一步進んだ委員会になると期待しております。本当にありがとうございました。

4【閉会】

(高野主幹) 長時間にわたりお疲れ様でございました。これをもちまして第3回自治基本条例推進委員会を終了します。ありがとうございました。